

こぶしだより

1996年12月9日(月)

発行 第198号

こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

家族旅行

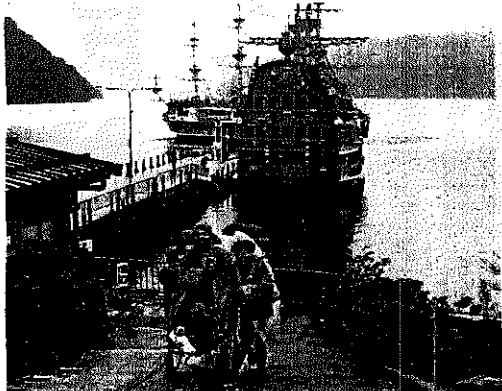
伊豆箱根

自分で採ったみかんはイケてる?!

去る10月31日(木)・11月1日(金)の1泊2日で、こぶし・けやき合同の家族旅行に行ってきました。行き先は伊豆・箱根です。参加者は、こぶし57名けやき34名の総勢91名、こぶしの旅行始まって以来初めての観光バス(東野バス)を使つての旅行でした。



1日目、朝7時30分にこぶし・けやき両作業所を出発。天気は、やや雲が多いもの、まずまずの天気。幸先の良いスタートです。東北道羽生PAで、こぶし・けやき各作業所を出発したバスが合流し、賑やかに快走していましたが東京に入った途端、大渋滞。しかし、そこはガイドさんの腕の見せ所、巧みな口話とカラオケで切り抜けることが出来ました。昼食は、小田原のドライブインでバイキングだ



つたのですが、それはすさまじいこと。みことな〇〇井、△△飯が出来上がりました。1日目のメインイベントは、みかん狩り。40分間食べ放題ということ、皆張り切つて挑んだのですが、あまりの酸っぱさに・・・。

しかし、みかんは実が低い所にもなるので、車椅子の仲間たちも参加でき、楽しむことが出来ました。

宿泊は、伊東のホテルニュー岡部。温泉とご馳走で、1日の疲れをいやしました。

2日目、雨!今回旅行担当

体験学習

宇都宮中 編

手作りのカレンダーありがとう!!

去る11月6日(水)、宇都宮短大附属中学の2年生が、体験学習として今年も来所しました。こぶし・けやきへそれぞれ事前にグループ分けをしてもらい、半日という短い時間の中で、仲間と一緒に作業したり散歩に出掛けたりと、普段の作業所の日課を過ごしてもらいました。

今回の仲間の感想で良かった事に、遊覧船・観光バスがたくさんあげられ、次回の旅行の希望には、新幹線での旅行と、乗り物に関心があるようです。

さて、来年はどこへ行こうか……。



(渡辺 郁)

この経験を基に、少しでも仲間のことを理解してくれる人が増えていったら良いと思います。

ありがとうございます。

この経験を基に、少しでも仲間のことを理解してくれる人が増えていったら良いと思います。

ありがとうございます。

に様々なボランティアを組織することがいかに大切か理解できると思う。共作連や全障研、ひまわり号は言うに及ばず後援会員の拡大、施設整備の財政活動全てが、こうしたことを射程に入れて取り組まれているものである。こぶし作業所発足からのスローガン「障害者の完全参加と平等」は辛く面倒臭い、且つ、避けては通れない道のりではある。目的は目的に合った手段を選ぶ。丹念に大胆に優しく足下の土壌を耕し、障害がいかに重くても「生まれてきて良かった。」と本人も家族も思える社会にしたい。

(鬼やんま)

みんなの大地

(成田)



今月(11月)の7日、「障害者ボランティア促進事業」と言う素敵な名前の清掃ボランティア活動を県央障害者施設を中心にして、こぶし作業所が日頃お世話になっている宇都宮市柳田緑地公園において開催した。行政や関係団体の役員をはじめに150名を越える障害者が集まり、半日のボランティアではあったが汗を流した。福祉やボランティア活動の対象である障害者が、恩恵を受けるだけでなく自分たち

にできる社会的貢献を積極的にしていこうということで、先進的施設の活動を行政が採り入れ始めたものである。

社会的貢献と言えば、分場も含めてこぶし作業所では年間620万円もの作業収益を得ているが、作業内容が下請け孫請けの作業であることを考えると実質この数倍は真の社会貢献をしていると言つて過言ではない。今回はこのことがテーマではないから本題に移るが、行政はもっと根本的な

- 12月のこよみ
- 7(土) 休所
 - 8(日) 休所
 - 14(土) 休所(職員会議)
 - 15(日) 休所
 - 21(土) 休所
 - 22(日) 休所
 - 23(月) クリスマス会 & 忘年会
 - 27(金) 休所(23日の振休)
 - 28(土) 年末年始休暇
 - 12(月) 仕事はじめ
 - 15(日) まで

芳賀町民祭

けやきチャリティーバザー

11月9日(土)・10日(日)に行われた芳賀町民祭、今年もけやき作業所はチャリティーバザーを出店しました。

今年のバザーは、けやき作業所建設委員会の事業活動の一環として、収益目標を昨年の2倍の50万円以上としました。10月初めに保護者会にバザー商品提供協力の依頼に、在住している商店を回ることをお願いして、職員と一緒に回りました。また、真岡新聞

11月9日(土)・10日(日)にバザー商品提供のお願いの記事を掲載しました。10月の下旬から依頼回りの商店や「真岡新聞を見てバザーの品物を出したいんですけれど。」という電話が多数かかってきて、職員は仕事の合間をぬって回収に回り、けやき作業所の中は回収してきた品物が部屋の中に入りきらす廊下まであふれてしまいました。11月に入ってからは、保護者に品物の値付けを平日の午後にし

てもらい、職員は回収やテナの設営等の準備を進めました。バザーの前日は雨で、当日の天気は心配でしたが、当日は朝のうちに雨が上がり、客足がのびました。雑貨・食品・寝具などは初日でたくさん売れ、2日目は商品が少なくなっていました。古本は益子養護学校の生徒さんが2人応援に来てくれて、積極的に売ってくれました。当日ポランテアとして来てくれたJLCCの高校生や、特にへイコーパックの社員の方々は、販売要員のみでなく、包装紙や紙袋の提供やバザーで残った品物を保管してくれる倉庫を貸していただき、ありがとうございました。

提供依頼・回収・値付け・販売と保護者の協力やポランテアの皆さんのおかげで、2日間の収益が目標の57万88円となり成功を納めました。ご協力していただいた方々誠にありがとうございました。また、来年もバザーを11月第2土・日曜日の芳賀町民祭にて行う予定です。その節はよろしくお願います。

(田島)

「カルフルとちぎ」 こころのつどい

栃木県障害者文化祭

去る11月13・14日、宇都宮市文化会館(小ホール)・総合コミュニティセンター・明保野体育館及び駐車場において、「カルフルとちぎ'96」こころのつどい―栃木県障害者文化祭―が開催されました。この事業は、社会福祉医療事業団(長寿社会福祉基金)の助成金の交付により、昨年からはじめたもので、今年には精神障害者関係も加わり会場も広範囲にわたって開催となりました。

初日は、宮城まり子さんによる(穏やかな口調ながらも)

なかなか辛口な)記念講演などもあり、両日とも約8千人の来場者がありました。今年も、こぶし・けやきは出場しませんでした。音楽芸能の部では各施設・作業所学校などのステージが次々と繰り広げられました。中にはこの日のために一年間練習を積んできたところもあり、仲間たちも緊張しつつも一生懸命発表していました。

又、こぶし・けやきでは石けん・リース・漬物・カレンダー・生花などの販売で出店。両日とも仲間2名、職員1名計3名ずつの要員で、売れ行きの方も好調でした。その他の仲間・職員は、14日の午後会場に足を運びました。会場

ウッシーのホーム

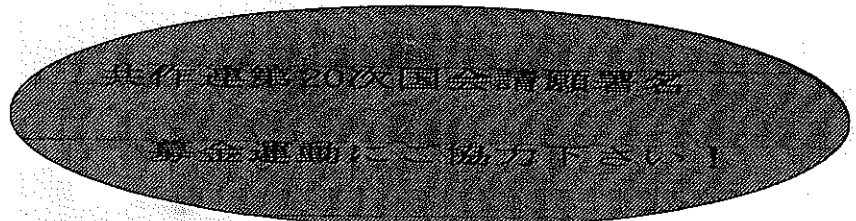
チームワーク

一人で引張れると思うなチームを一人でワーク出来るのか

人々が組織の中で働くのがチームワーク

働けない時は誰かと助け合う

それがチームワーク



共同連結成以来、国に対する小規模作業所の本格的制度化を中心とする国会請願を19年間行い、様々な成果や前進を生み出してきました。そして、第20次請願運動は、

- ・タテ割行政、法律の改善
- ・小規模作業所補助金制度の拡充
- ・「障害者活動センター」の制度化

を主な内容として、すでに10月からスタートしています。是非ご協力をお願いいたします。

尚、寄せられました募金は、署名用紙などの印刷、国会請願などの活動費共同連の各集会参加のために使わせていただきます。(用紙不足の場合はご連絡ください。)

※最終集約 3月20日

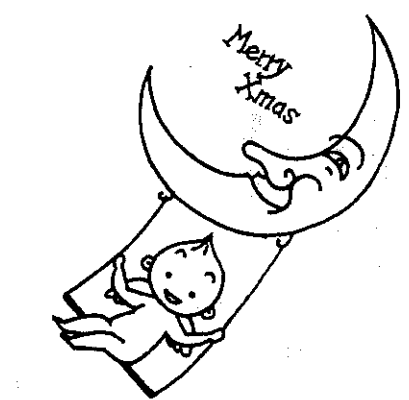
「共同連'97カレンダー」

◎「傷らく下かき」 ¥1,200.-

◎「どんぐり」 ¥1,200.-

銅の作業所で作る 共同連カレンダー
伊豆の山をのんびり
うま味のある作業所「どんぐり」
Eメールにて ブックコミック連載中
山本おさむ作「どんぐり」Eメールにて
来年7月頃に上映開始予定。

ご協力をお願いします。
※ご注文はお早目に! 送料は別途お支払い下さい。



(桜庭)